

(1) 教育長報告

年月日	曜	時刻	行事名	場所
19/11/28	木	15:00	教育委員会定例会	渋民公民館 視聴覚研修室
19/11/29	金	10:30	R1第1回総合計画審議会	総合福祉センター 4階講堂
		13:30	令和元年度第2回社会教育委員会議	都南分庁舎 4階大会議室
19/11/30	土	10:00	SICEプログラム・クロージングレセプション(祝辞)	上田公民館
19/12/01	日	13:30	【協議会】岩手県PTA連合会年次表彰式(祝辞)	ホテルメトロポリタン盛岡
19/12/02	月	11:00	盛岡教育事務所田村所長来訪	都南分庁舎 教育長室
		13:00	東松園小学校本田校長辞令交付式	都南分庁舎 教育長室
		13:30	盛岡市教育振興推進委員会常任委員会②	都南分庁舎 研修室
		16:15	市長と教育委員会の予算に関する懇談会・懇親会	本庁舎 403会議室・お花坊
19/12/03	火	10:00	【市議会】全員協議会	本庁舎 委員会室
		13:00	【市議会】招集初日	本庁舎 議場
19/12/04	水			
19/12/05	木			
19/12/06	金			
19/12/07	土			
19/12/08	日			
19/12/09	月	10:00	【市議会】一般質問	本庁舎 議場
19/12/10	火	10:00	【市議会】一般質問	本庁舎 議場
19/12/11	水	10:00	【市議会】一般質問	本庁舎 議場
19/12/12	木	10:00	【市議会】一般質問	本庁舎 議場
19/12/13	金	13:30	県教委保健体育課総括課長・担当課長来訪	都南分庁舎 教育長室
		15:00	矢巾町教育長来訪	都南分庁舎 教育長室
		18:30	盛岡市小・中学校長会忘年会	サンセール盛岡
19/12/14	土			
19/12/15	日			
19/12/16	月	10:00	【市議会】議案質疑	本庁舎 議場
19/12/17	火	10:00	【市議会】総務・教育福祉常任委員会	本庁舎 委員会室
19/12/18	水			
19/12/19	木			
19/12/20	金	10:00	加賀野地区活動センター馬場館長, 福祉推進会佐々木会長来訪	都南分庁舎 教育長室
		13:00	【市議会】定例会最終日	本庁舎 議場
		18:00	【市議会】定例会懇親会	アートホテル盛岡
19/12/21	土	11:00	【市長代理】令和元年度東北中学校体育大会 第41回東北中学校スケート・アイスホッケー大会(アイスホッケー競技)	みちのくコカ・コーラボトリングリンク
19/12/22	日	17:00	盛岡芸術協会第48回芸術懇談会(乾杯)	アートホテル盛岡
19/12/23	月	13:30	盛岡地区退職校長会役員訪問	都南分庁舎 教育長室
19/12/24	火	10:00	教育委員会定例会	上田公民館 視聴覚室

(2) 令和元年12月市議会定例会の概要について

月日	質問議員 (会派)	答弁者	質問要旨	担当課	
12月9日 (月)	<一括質問>				
	1 大畑正二 (創盛会)		職場環境づくりについて		
			(1) カスタマーハラスメント対応		
		教育長	・教職員へのカスタマーハラスメントの実態把握状況と その実例	学務教職員課	
		教育長	・組織としての対応とバックアップ体制(教職員)	学務教職員課	
		教育長	・対応の考え方, 方針(教職員)	学務教職員課	
			子育て支援について		
			(1) 空き教室の有効活用		
		部長	・学校施設を利用した学童保育クラブの数と学校名。活 用の経緯。	総務課	
		部長	・全学童保育クラブからの活用率	総務課	
		部長	・学童保育クラブが学校施設を活用する場合の手順	総務課	
	2 千葉伸行 (盛友会)		市立図書館の大規模改修について		
		部長	・1階ピロティ活用などの要望の実現可能性の受け止め	生涯学習課	
		部長	・図書電子化による, オープンスペース確保などへの 所見	生涯学習課	
		部長	・実施設計へのプロポーザル方式採用や, 指定管理者制 度導入についての所見	生涯学習課	
	3 鈴木一夫 (市政クラブ)		教育について		
		教育長	・ユーチューバーについての見解	学校教育課	
			(1) 1学年1学級の現状と今後		
		教育長	・学校規模が小さい教育環境の妥当性の検証の必要性	学務教職員課	
		教育長	・教育委員会主導による学校統合の動きはできないか	学務教職員課	
		教育長	・統合によらない小規模校の良さを生かしながら社会環 境に適した人材育成の教育環境整備はできないか	学校教育課	
			(2) 学校弁護士		
		教育長	・学校弁護士事業についての盛岡市のかかわりや配置	総務課	
		教育長	・学校弁護士制度で児童生徒や保護者との関わり方はど うなるか	総務課	
		教育長	・盛岡市の独自配置の見解	総務課	
			(3) 通学路の安全対策		
		(4) 芸術に触れる機会			
	教育長	・芸術に触れる機会の現状	学校教育課		
	4 伊勢志穂 (市政クラブ)		市立図書館について		
			(1) 社会的役割・設置意義		
		部長	・公立図書館の社会的役割や自治体が図書館を設置する 意義の考え	生涯学習課	
		部長	・盛岡市の図書館運営や取組	生涯学習課	
			(2) 市民要望に対する考え		
		部長	・近隣高校生の市立図書館利用の少ない理由と分析	生涯学習課	
		部長	・交流・くつろぎ機能の要望に対応した設計の方向性	生涯学習課	
部長	・図書館協議会の協議で交流・くつろぎ機能の要望に関 したものはあったか	生涯学習課			
5 中村亨 (市政クラブ)		教育行政について			
		(1) ICT環境の整備状況と今後の対応方針			
	部長	・教育現場のICT環境整備状況, 整備率はどう改善されて きているか	学校教育課		
部長	・国の配備目標に関する市の具体的整備の見解	学校教育課			

月日	質問議員 (会派)	答弁者	質問要旨	担当課
12月9日 (月)	5 中村亨 (市政クラブ)		(2) 校舎等の維持管理とトイレの洋式化の取り組みと今後の対応	
		部長	・校舎の屋根塗装終了の見通し	総務課
		部長	・トイレの洋式化改修状況と温水付きシャワー便座の配置状況	総務課
		部長	・トイレ改修について速やかな具体的対応方針を図るべきと考えるが見解を示せ	総務課
	6 高橋和夫 (共産党)		【該当なし】	
12月10日 (火)	7 庄子春治 (共産党)		来年度の予算編成方針について	
		部長	(3) 公共施設整備計画 ・学校施設の来年度の予算編成に向けた方針	総務課
	8 長岡利明 (盛友会)		地域課題について	
		市長	(3) (仮称) 南部公民館及び児童センターの建設計画 ・現時点の建設の今後の予定	生涯学習課
	9 鈴木努 (共産党)		拒食症等の摂食障がいについて	
		教育長	・摂食障害の15歳未満子どもの有症率の状況	学校教育課
		教育長	・小中学校における取組	学校教育課
		教育長	・摂食障害の子ども早期発見の取組状況	学校教育課
	10 大谷陽介 (市政クラブ)		働き方改革について	
		教育長	(1) 進捗状況 ・学校における働き方改革の取り組む状況と今後の展開	学務教職員課
教育長		(2) 今後の推進 ・学校職員の働き方改革の取組状況	学務教職員課	
	11 豊村徹也 (創盛会)		【該当なし】	
	12 太田隆司 (公明党)		【該当なし】	
12月11日 (水)	13 池野直友 (公明党)		【該当なし】	
	14 大石仁雄 (盛友会)		【該当なし】	
15 加藤麻衣 (市政クラブ)		SOGIハラ対策について		
	教育長	・性自認に合った制服の着用希望への対応	学校教育課	
	教育長	・ジェンダーやSOGI, 性の多様性をどう生徒に伝えていくか	学校教育課	
16 小笠原秀夫 (盛友会)		教育行政について		
	教育長	(1) 教育格差 ・教育基本法第4条についての見解	総務課	

月日	質問議員 (会派)	答弁者	質問要旨	担当課	
12月11日 (水)	16 小笠原秀夫 (盛友会)	教育長	・小学校の英語教育とプログラミング教育に伴う格差の発生と拡大についての考え	学校教育課	
			(2) 学校外教育バウチャー		
			(3) 中学校教育		
		教育長	・麴町中学校の取組を盛岡市の中学校に取り入れてはどうか	学校教育課	
	17 神部伸也 (共産党)			子どもの貧困対策について	
		部長		・就学援助のクラブ活動費の小学生への実施見通し	学務教職員課
				教育課題について	
				(1) 教職員の働き方改革	
		教育長		・公立学校教職員給与等特別措置法改正案に基づく条例制定の所見と今後の展開	学務教職員課
		教育長		・守谷型カリキュラム・マネジメントの導入についての所見	学校教育課
				(2) いじめ問題	
		教育長		・いじめ、不登校、暴力行為の実態	学校教育課
		教育長		・いじめをなくすための取組状況	学校教育課
		教育長		・いじめは、情報を共有し、速やかに対応することへの所見	学校教育課
	教育長		・いじめの根底にある子どもの大きなストレスの解決への所見	学校教育課	
	教育長		・余裕をもって子どもに接する環境を構築することへの所見	学校教育課	
	18 菊田隆 (盛友会)			教育課題について	
				(1) 子どもたちの体の変化	
		教育長		・小中学生の運動器の疾患・障害の状況とその改善をどう指導しているか	学校教育課
教育長			・武藤名誉教授の言葉を教育長はどう考えるか	学校教育課	
教育長			・新学習指導要領の低学年体育「運動遊び」の拡充では具体的にどんな遊びを考えているか	学校教育課	
12月12日 (木)	19 三田村亜美子 (共産党)		小中学校の統廃合について		
		部長		・アセット対象校として4校が対象となった経緯とどのように統廃合を進める方針か	学務教職員課
		部長		・保護者説明会の説明内容と質問や意見の内容及び今後のスケジュールや方針	学務教職員課
		部長		・地域住民との合意形成プロセスの見通し	学務教職員課
		部長		・小学校のアセット対象校はどうか	学務教職員課
		部長		・現段階の具体的統廃合対象校	学務教職員課
				学校給食について	
		部長		・学校給食のパンは県産・国産・輸入のどの小麦を使用しているか	学務教職員課
		部長		・パン以外的小麦製品はどうか	学務教職員課
		部長		・小麦製品の使用は単独調理場、給食センター、ランチボックス給食により違いはあるか	学務教職員課
		部長		・安全性の認識	学務教職員課
		部長		・給食の安全安心の確保に関する初見	学務教職員課
	20 竹花せい子 (市政クラブ)			教育予算について	
部長			(1) 教材備品費の確保		
			・平成30年度の教材費決算額と国の積算基準に対する割	学校教育課	

月日	質問議員 (会派)	答弁者	質問要旨	担当課
12月12日 (木)	20 竹花せい子 (市政クラブ)		就学援助費の公平化について	
			(1) 完全給食と給食自由選択方式の就学援助費の格差是正	
		部長	・弁当を持参している世帯へも給食費と同等の支援が必要と考えるが見解	学務教職員課
			市内小中学校における労働安全衛生体制について	
			(1) 教育委員会職員安全衛生委員会における「学校の働き方改革」の進捗状況	
		教育長	・市が進めている「学校の働き方改革」の進捗状況	学務教職員課
		教育長	・教職員の超過勤務時間の推移は改善傾向か、悪化傾向	学務教職員課
		教育長	・各校の業務削減の具体的取組	学務教職員課
			性別で分けない名簿の使用について	
			(1) 日常の名簿使用の状況	
		市長	・男女共同参画推進条例の推進計画に性別で分けない名簿の100%導入を盛り込むのか	学校教育課
		教育長	・性別で分けない名簿の日常使用をどう進めていくか、教育委員会の姿勢は	学校教育課
		21 浅沼克人 (盛友会)		【該当なし】
<一問一答>				
	村田芳三 (盛友会)		【該当なし】	
	伊達康子 (公明党)		【該当なし】	
	野中靖志 (市政クラブ)		【該当なし】	

(3) 専決処分の報告について

1 報告の趣旨

地方自治法（昭和22年法律第67号）第180条第1項の規定により専決処分したものについて、同条第2項の規定により12月市議会定例会に報告事項として提出したので、報告するものである。

2 専決処分の内容

- (1) 令和元年10月5日、盛岡市立高等学校野球部グラウンドにおいて、練習試合中にファウルボールが飛び出し、隣接の宅地に駐車していた車両に当たり、車両を損傷した事件に係る損害賠償の額を定めたものである。（報告第58号）
- (2) 下記の工事について、契約金額を専決処分により変更したものである。
 - ア 中央公民館複合化・大規模改修（建築主体）工事（報告第61号）
 - イ 中央公民館複合化・大規模改修（機械設備）工事（報告第62号）
 - ウ 中央公民館複合化・大規模改修（電気設備）工事（報告第63号）

3 報告書

別紙のとおり

報告第 58 号

専決処分の報告について

地方自治法（昭和22年法律第67号）第 180条第 1 項の規定により次のとおり専決処分したから、同条第 2 項の規定により報告する。

令和元年12月 3 日提出

盛岡市長 谷 藤 裕 明

専決処分書

損害賠償事件に係る損害賠償の額を定めることについて、地方自治法（昭和22年法律第67号）第 180条第 1 項及び盛岡市長専決条例（昭和23年条例第42号）第 2 条第 9 号の規定により、次のとおり専決処分する。

令和元年11月11日

盛岡市長 谷 藤 裕 明

損害賠償事件に係る損害賠償の額を定めることについて

次のとおり損害賠償事件に係る損害賠償の額を定める。

- 1 損害賠償の相手方 住所
氏名
- 2 損害賠償の額 金 108,201円也
- 3 損害賠償の原因

令和元年10月 5 日、盛岡市立高等学校野球部グラウンドにおいて、練習試合中にファウルボールが飛び出し、隣接の宅地に駐車していた車両に当たり、車両を損傷したことによる。

報告第 61 号

専決処分の報告について

地方自治法（昭和22年法律第67号）第 180条第 1 項の規定により次のとおり専決処分したから、同条第 2 項の規定により報告する。

令和元年12月 3 日提出

盛岡市長 谷 藤 裕 明

専決処分書

下記工事の一部設計変更に伴う契約の変更について、地方自治法（昭和22年法律第67号）第 180条第 1 項及び盛岡市長専決条例（昭和23年条例第42号）第 2 条第 8 号の規定により、専決処分する。

工 事 件 名	変 更 内 容	専決処分年月日
中央公民館複合化・大規模改修（建築主体）工事	契約金額「576,623,620円」を「584,941,820円」に改める。	令和元年11月18日

報告第 62 号

専決処分の報告について

地方自治法（昭和22年法律第67号）第 180条第 1 項の規定により次のとおり専決処分したから、同条第 2 項の規定により報告する。

令和元年12月 3 日提出

盛岡市長 谷 藤 裕 明

専決処分書

下記工事の一部設計変更に伴う契約の変更について、地方自治法（昭和22年法律第67号）第 180条第 1 項及び盛岡市長専決条例（昭和23年条例第42号）第 2 条第 8 号の規定により、専決処分する。

工 事 件 名	変 更 内 容	専決処分年月日
中央公民館複合化・大規模改修（機械設備）工事	契約金額「555,645,440円」を「550,108,040円」に改める。	令和元年11月18日

報告第 63 号

専決処分の報告について

地方自治法（昭和22年法律第67号）第 180条第 1 項の規定により次のとおり専決処分したから、同条第 2 項の規定により報告する。

令和元年12月 3 日提出

盛岡市長 谷 藤 裕 明

専決処分書

下記工事の一部設計変更に伴う契約の変更について、地方自治法（昭和22年法律第67号）第 180条第 1 項及び盛岡市長専決条例（昭和23年条例第42号）第 2 条第 8 号の規定により、専決処分する。

工 事 件 名	変 更 内 容	専決処分年月日
中央公民館複合化・大規模改修（電気設備）工事	契約金額「390,251,740円」を「398,253,140円」に改める。	令和元年11月18日

(4) 令和元年度盛岡市教育振興運動地区別集会について

令和元年度 盛岡市教育振興運動地区別集会の実施状況報告

地区	期日・会場 参加者数	発表学校区	「実践主題」		
			○実践の成果	◎情報機器の適切な利用	◆課題
第 I 地区	11月16日(土) 太田東小学校 (330名) うち児童生徒 93名	太田小学校区	「ふるさとに誇りをもち、心豊かな太田の子どもを育てよう ～子どもと家庭・地域・学校がつながる活動を通して～」 ○学校、家庭、地域の強い連携が確保・維持できており、地域の方や保護者による積極的な協力のもと、地域行事への参加など充実した体験活動が展開されている。 ◎児童の携帯電話所有率等の実態を踏まえ、家庭教育学級や地区懇談会等で、情報機器の適正な利用に関する啓発に取り組んでいる。 ◆既存の活動を、児童数減少、PTA 減少等の実態合わせて見直し、充実・発展させていくことが求められる。		
		太田東小学校区	「『すすんで読書』『じっくり学習』『しっかり生活』に取り組もう」 ○地域の活動への積極的な参加を通して、地域への愛着を深め、地域が一体となって子どもを育てようとする意識を高めている。 ◎「我が家のインターネットルール10か条」等を掲載した学校独自の情報モラルリーフレットを作成・配布し、各家庭における話合いを促す等、意識化を図っている。 ◆児童数減少や、地区開発による新たな世帯の増加や環境変化により、一層、自治会・町内会・地域との連携を深めながら実践を推進していく必要がある。		
第 II 地区	10月19日(土) 土淵小・中学校 (353名) うち児童63名	厨川小学校区	「人、もの、自然とのふれあい活動を通し、『地域のよさ』に目を向ける子どもを育てよう」 ○安全・安心な生活を送るための取組が地域との連携を深めながら継続されている。地域人材の効果的な活用が地域の活力を生み出し、地域を愛する心の育成に結び付いている。 ◎情報モラル講座やアンケート調査を実施し、各家庭における話合いやルール作りを促す等、情報機器の適切な利用の啓発へとつなげている。 ◆情報機器の適切な利用については、児童を対象とした学習会の企画等、取組の充実を図る必要がある。		
		土淵小・中学校区	「関わりを大事にしながら、『すすんで体験』『じっくり読書』『しっかり生活』できる土淵の子を育てよう」 ○学校、家庭、地域が目標を共有し、具体的な取組を協力して推進したことにより、児童生徒が地域の教育力の中で伸び伸びと活動し、達成感を味わっている。 ◎発達段階に応じた情報モラル学習等の取組を推進するとともに、広報等を通して、情報機器の適切な利用に関わる情報や児童生徒の実態を情報提供している。 ◆情報機器の適切な利用に関しては、学校区全体で研修の機会をもち、ルールの設定等を検討していく必要がある。		

地区	期日・会場 参加者数	発表学校区	「実践主題」
			○実践の成果 ◎情報機器の適切な利用 ◆課題
第 Ⅲ 地 区	9月21日(土) 河北小学校 (331名) うち生徒135名	河北小学校区	<p>「ふれ合いを通して、思いやる心とたくましく生きる力をもつ子どもを育てよう ～みんなで育てる地域をめざして～」</p> <p>○子どもたちの地域行事への積極的な参加が、地域の活性化や家庭と地域の連携の強化につながっている。「ふれあい」を大事にした体験活動が多岐に渡って展開されており、子どもたちの心の成長に結び付いている。</p> <p>◎4・5・6年児童と全校保護者を対象とした「ケータイ・スマホ教室」を年間に複数回設定し、情報機器の適正な利用に関する啓発に取り組んでいる。</p> <p>◆既存の活動を、地域や生徒の実態に合わせて見直し、充実・発展させていくことが求められる。</p>
第 Ⅳ 地 区	11月17日(日) 松園地区公民館 (142名) うち児童生徒 4名	高松小学校区	<p>「家庭・地域・学校のふれあいで心豊かなたくましい子供を育てよう」</p> <p>○創立40周年記念事業を、学校、家庭、地域が一丸となって推進することにより、子どもたちの母校と地域に対する誇りと愛着、学校と地域のつながりを一層深めることができた。</p> <p>◎各学年に応じた情報機器の使い方に関する学習の様子を授業参観として保護者に公開したり、保護者や地域の方を対象とした情報モラル教育講演会を開催したりし、保護者の理解の促進を図っている。</p> <p>◆実践の成果と課題を明らかにし、児童、学校、家庭、地域で共有した上で、次年度以降の取組に生かしていく必要がある。</p>
		黒石野中学校区	<p>「地域と中学生の交流を深め、心豊かな黒中生を育てよう」</p> <p>○地域の人々のふれあいを通して、地域に対する理解と愛着を深める「ふれあい体験学習」を教育振興運動に位置付け、地域における五者連携による生徒の健全育成の場として、充実した取組を推進している。</p> <p>◎情報機器アンケートの実施と結果の共有、情報モラル教室の実施、生徒会によるルール作りを、情報機器の適切な利用への意識の向上につなげている。</p> <p>◆地域の活動等に積極的に参加する姿勢や、生徒が地域のためにできることを考え行う行動を引き出しながら、さらに地域力を生かした健全育成の在り方を深めていくことが必要である。</p>

地区	期日・会場 参加者数	発表学校区	「実践主題」		
			○実践の成果	◎情報機器の適切な利用	◆課題
第V地区	10月5日(土) 盛岡劇場 (329名) うち児童生徒 149名	河南中学校区	「家庭・地域社会・学校の連携を深め 知力・体力・品性に満ちたたくましい生徒の育成 ～連携を深める活動の継続・発展をめざして～」 ○生徒会を中心とした地域との交流活動が、長年の継続により地域に根付き、その連携の深まりが、生徒の主体性と地域を愛する心の育成に結び付いている。 ◎「SNS 減量週間」の設定や、情報モラル講演会の開催を通して、「河南中学校 安心生活宣言」を指標とした生活の見直し、改善を図っている。 ◆情報機器の適切な利用に関わる取組状況には、家庭による差があるため、全家庭からの協力が得られるよう、啓発活動を今後も継続する必要がある。		
第VI地区	11月9日(土) 見前南中学校 (213名) うち児童生徒 0名	永井小学校区	「『永井のまちの未来を担う人づくり』～ふるさとを愛し、ふるさとに誇りを持ち、ふるさとを支え よりよい町にしていこうとする志を育む～」 ○「人と人とのつながり」を大切にした活動が、学校、家庭、地域が連携を深めながら展開されており、地域の活力と地域に対する愛着につながっている。 ◎実態調査の実施や、調査結果に関わる講話や情報提供、家庭でのルール作りの推進を通して、課題の共有や改善に向けた取組を働きかけている。 ◆地域の環境変化による新たな課題の改善に向け、学校と家庭、地域、行政が一体となって取り組めるよう、連携を充実させていくことが必要である。		
		見前南小学校区	「育てよう 自立の心と思いやりの心」 ○地域全体で子どもの安全を見守る組織が確立されており、安全・防犯に係る多様な活動が展開されている。地域の特色を生かした教育活動の実現を可能にする多面的な連携が図られている。 ◎5者連携による情報モラル教育の推進が、情報機器の適切な利用に係る家庭での話合いの促進や、児童の主体的な活動に結び付いている。 ◆「地域とともにある学校」をつくるための多面的な連携強化を図り、特色ある教育活動の充実を推進する必要がある。		
		見前南中学校区	「地域で活躍、『南中魂』」 ○生徒の地域活動の参画を支える組織と体制が確立しており、生徒が中心となった地域活動が多様に展開されている。 ◎生徒会が中心となり「南中生徒会ネット利用5か条」を作成し、生徒総会による話合いや啓発ポスターの掲示を通して、意識の高揚を図っている。 ◆地域の実態に合わせた運動の在り方や組織運営等の見直しを図りながら、地域や学校の特色を生かした取組を充実、発展させていくことが求められる。		
参加者合計 1,698名 (うち児童生徒 444名)			※平成30年度参加者合計 1,432名 (うち児童生徒 100名)		

<まとめ>

- ・家庭，地域，学校がそれぞれの役割を明確にし，連携，協力し合うことで，児童生徒を健全に育むための組織的・継続的な取組がなされている。
- ・児童生徒の減少，地区の方々の高齢化等，各実践区の現状を踏まえ，それぞれの実践に適宜評価を加えながら，組織や内容の見直しを図り，充実した取組につなげている。
- ・各地域の自然，伝統，文化といった特徴を生かして，地域ならではの特色ある取組がなされていることで，児童生徒の地域へ誇りが生まれ，自分自身を育む地域への愛着が，自己肯定感の育成につながっている。
- ・第 11 次 5 年計画の重点の一つである「情報機器の適切な利用」については，それぞれの学校区の実態を丁寧に把握し，課題に応じた取組が展開されている。各学校区の実践を交流し合うことにより，活動の一層の充実を図っていくこととしたい。

(5) 令和元年度第2回盛岡市社会教育委員会議の概要について

- 1 日 時 令和元年11月29日(金) 午後1時30分から2時55分まで
- 2 場 所 都南分庁舎3階研修室
- 3 出席者 社会教育委員13名, 教育長, 教育部長, 教育次長, 参事兼生涯学習課長, 生涯学習課長補佐, 歴史文化課長, 中央公民館長補佐, 市立図書館長, 区界高原少年自然の家所長, 市民協働推進課長, 市民協働推進課1名, 生涯学習課6名
- [オブザーバー出席] 公益財団法人盛岡市文化振興事業団事務局次長, 盛岡サイエンスグループ子ども科学館名誉館長, 第一商事株式会社見前南地区公民館長, もりおか歴史文化館活性化グループ総括責任者

4 内容

(1) 報告

- ア 中央公民館大規模改修について
- イ 市立図書館に対する高校生の意見調査結果及び図書館利用者アンケート結果について
- ウ 第41回全国公民館研究集会・令和元年度東北地区社会教育研究大会・第64回東北地区公民館大会岩手大会兼第66回岩手県公民館大会・令和元年度岩手県社会教育委員研究大会開催報告
- エ その他

(2) 議事

- ア 令和2年度社会教育行政の方針と施策について
- イ 令和2年度社会教育関係団体への補助金交付予定について
- ウ 社会教育・文化財行政への提言

5 意見等

No	主な質問意見等	回答
1	中央公民館大規模改修工事後は、床面積は広がるのか。また、お茶会使用の要望のある別館も4月から使用可能か。	大規模改修なので、床面積は広がらない。別館は4月1日から使用可能である。 (中央公民館)
2	市立図書館の利用者数等の近年の傾向は。	市立図書館のみの数値で、平成30年度で貸出しでのべ約9万7千人、約29万冊となっており、ここ数年は減少傾向にある。 (市立図書館)
3	他都市では、幼児児童向けに「読書通帳」を作成して、館内に設置したATMのような機器で借りた本の履歴等を記帳できるシステムを導入している図書館があると聞く。市立図書館でもそのようなソフト面での新しい工夫をしてみてもどうか。	花巻市などで導入している、そのシステムは数百万円かかると聞く。他都市の事例を参考にしながら、子どもたちの読書習慣の醸成を図るなど、工夫していく。 (市立図書館)

4	<p>図書館に足を運ばなくても、公民館図書室などでも図書館の図書を貸出し、返却できるようにしてほしいという要望が多い。市内の大学で導入している共通カードのようなシステム導入を検討しているのか。</p>	<p>市の各施設での図書の貸出し、返却の一元化は目指すべき目標と捉えているが、システム導入には数千万円かかるため、すぐには難しい。図書貸出しのネットワークを充実させるため、粘り強く前進させていきたい。</p> <p>(市立図書館)</p>
5	<p>岩手大学でも、生涯学習に関する講座を各種実施していることから、情報共有し相互に連携、参加していきたい。</p>	<p>(要望のため回答なし)</p> <p>(生涯学習課)</p>
6	<p>少年指導員は、各地域で世代交流のイベントなどを主導してくれているが、なり手が少ない。学校を通じPTAなどに声をかけて育成し、制度を継続させてほしい。</p>	<p>(要望のため回答なし)</p> <p>(生涯学習課)</p>
7	<p>国道106号線の新区界トンネルができた後、少年自然の家までのルートはどうなるのか。</p>	<p>新しい区界トンネルは少年自然の家の前の国道106号線に出ないルートとなっている。県北バスに、バス利用時のルートを問い合わせているが、まだ明示できないとのことで、回答を待っている状況である。</p> <p>(区界高原少年自然の家)</p>
8	<p>家庭教育研修について、実施方法、対象及び周知方法は。</p>	<p>子育てに不安を持っている親を対象とした研修等に重点を置いて実施している。応募は広報もりおか、民間の情報誌及びインターネットなどを活用して周知を図っている。実施に際しては託児も行っている。</p> <p>(生涯学習課)</p>
9	<p>(仮称) 南部公民館の整備事業の進捗状況は。</p>	<p>盛南開発地区の市有地を活用して整備する方針で検討を行っている。今年、地元町内会役員や住民を対象としてそれぞれ説明会を開催し、整備案を示して意見等を聴いた。今後、着手には庁内合意形成が必要となる。</p> <p>(生涯学習課)</p>
10	<p>子ども科学館の大規模改修事業の今後の進め方は。</p>	<p>盛岡市公共施設保有最適化・長寿命化 中期計画により、建物については築40年を目途に大規模改修することとなる。開館当時のままの常設展示物の更新が課題となっている。</p> <p>(生涯学習課)</p>